

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 8月 21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491100289		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム なでしこ		
所在地	尾道市吉和町5122-1 (電話) 0848-25-2772		
自己評価作成日	令和2年7月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491100289-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491100289-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年8月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

開所から8年を迎えました。施設入所という事でいろいろ制限がある中、入居者の方々に楽しみを持って頂けるように支援しています。その一つに食事があります。当施設では職員が手作りで食事を作っています。毎回ではありませんが、入居者との会話の中で嗜好を聞き、皆様に喜んで頂けるように努めています。また希望される入居様には定期的に歯科医の検診と歯科衛生士による口腔ケアをお願いしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

平屋の空間を有効活用し、両ユニット間が行き来しやすい環境でもあり、利用者同士の交流がある。基本理念の一つに、「地域の交流を通し」を掲げている。地元行事が盛んな地域でもあり、季節毎の行事があれば参加し、近隣住民との関わりを重ね、顔なじみの関係ができています。職員は、利用者個々の生き甲斐、役割づくりを常に考えて実践している。また、毎食の食事は旬の食材を美味しく食べるとして食材の買い出しから調理と3食手作りで提供している。毎日のレクリエーション（運動、ゲーム、会話など）にも力を入れ、利用者一人ひとりの笑顔が一つでも増えるように日々支援されている。職員同士が話しやすい雰囲気があり、意見・要望を管理者は前向きに受け止め、運営に活かしていく体制が見られる。

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人の基本理念を玄関ホールと各ユニットの壁面に掲示して、職員に周知させている。	法人理念を事業所理念とし、玄関ホールと各ユニットに掲示し、職員は仕事開始時に意識する事が習慣となっている。ケアを実践する上での立ち返るべき原点としている。開所当初からの理念を一つ「地域の交流を通し」を追加した経緯がある。	今後は、全職員で年間目標を作り上げ、実行・検証（月1回の職員会議など）を通して、理念に沿ったケアができていくか振り返りをする事を望みます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地元の町内会に加入しており、敬老会など地域の行事にお招きを頂き参加している。また、とんどの飾りつけづくりをお隣のしぎこの家と共同で依頼され、毎年作成している。	町内会に加入し、とんど祭りや敬老会などの地域行事の他、参加している。毎年行われる、とんど祭りは、民生委員や町内の役員からの依頼で、近隣グループホームとの共同で飾りつけを作成している。職員は話し合いを通して、地域密着型サービスの必要性を理解している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	敷地の入り口に掲示板を設置しており、施設だよりや運営推進会議の案内、議事録を掲示している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	毎回隔月ごとに開催しており、ご家族や民生委員、また包括支援センターご担当者に参加して頂いて、施設行事や事故の報告などを行い、意見や要望をまとめている。参加できなかったご家族には資料を送付している。	会議は家族会と兼ねて開催されている。運営状況など、報告が行われ、その時期にあった助言もあり、地域の情報を聞く事が出来ている。この度、地域包括支援センターから、認知症カフェを開催してはどうかと提案があった。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力を築くように取り組んでいる。	施設内で発生した事故で、病院受診を伴った場合は、事故報告書を滞りなく提出している。	主に副所長がパイプ役となり、事故報告書など、その都度届けるなど随時連携を図っている。運営推進会議には地域包括支援センター職員が毎回参加し、情報共有を図っている。疑問など思う事や相談は、問い合わせをしている。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止に関する指針を作成し、職員への周知に努めている。また、運営推進会議でも高齢者虐待についてご家族に説明し、意見交換を行っている。	身体拘束廃止に関する指針を作成し、職員への周知に努めている。職員は「拘束をしない」必要性を認識している。危険な場所は、オートロックを必要時に使用するが、自由と安全のバランスに考慮し使用している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員会議の場で、声掛けや対応などについて話し合う機会を設け、不適切なケアになっていないか、自身のケアを振り返る機会を設けている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見に携わっている職員から制度について情報を得たり、不明な点があれば都度、説明を受けている。成年後見が就任している入居者の方も受け付けている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、重要事項について説明を行い、その他の事についても不安や疑問点がある場合はその都度対応をしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見や要望がある場合は、口頭や電話、また玄関先に苦情箱を設置し、常に受け付けている。	来所時に意見を求める機会は設けている。例えば職員の顔と名前が分からないとの要望に答え、事業所は速やかに、掲示を張り出し、意見を反映させている。運営推進会議は家族会と兼ねて開催している。毎月の便りや、広報誌で、身近な出来事を知らせている。	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月行う職員会議の場で、意見や提案を聞く機会を設けている。必要であれば個別でも行っている。	職員個々の状況に踏まえて、個別面談を通して意見を聞く機会を設け、業務上の提案や業務の進捗状況等に対する支援体制を採っている。以前、各ユニットに主任体制を設けていたが、全職員に意識づけを図る目的で、今年(令和2年6月)一時撤廃を図った例もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎年、定期的にベースアップを行い職員の勤務意欲の向上に努めている。また勤務時間内で業務が終了するように努めている。必要な残業に関しては法で定められた手当てを支給している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設外の研修に関しては、研修案内の資料を提示し、研修参加希望者を募っている。(研修を申し込んでいたが、コロナウイルスの影響で中止となった。)施設内では研修の場は設けられていないが、職員間で指導を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域や町内の行事に参加した際には近隣のにしごの家さんなど同業者の方々と意見交換するように努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の生活歴などの把握に努め、しっかりと会話をすることで信頼関係を築き、安心して、困っていること、不安なこと、要望に耳を傾けられるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族が抱えている、困っていること、不安なこと、要望などをしっかりと耳を傾け、小さなことでも話して頂けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人やご家族の話聞き取る中で、何を必要としているかを把握し、ご家族と一緒にその方に合ったサービスは何か検討するように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>可能な方には、居室の掃除や、洗濯物を干したり、畳んだりなど生活作業を行ってもらっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>体調の変化があれば、常に連絡、報告し、ご家族に本人の状態をお知らせするように努めている。また病院受診があった場合可能であればご家族に依頼している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>現在は、コロナウイルスの関係で面会を一部制限しているが、従来は面会に制限はなく、自由に来所頂けるように努めている。また希望があれば、携帯電話を所有して頂き連絡が取れるようにしている。</p>	<p>携帯電話を所持される方もおられ、面会しやすいように、敢えて24時間面会は可能としている。平屋の空間を有効活用し、両ユニット間が行き来しやすい環境でもあり、利用者同士の交流がある。電話や家族からの手紙のやり取りも日常的である。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事などができる方は職員や他の方と一緒にいき関係作りに努め、孤立しやすい方は職員が間に入ってコミュニケーションが取れるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	お亡くなりになられた方や、退居後にお亡くなりになられた方の葬儀に参列している。近くに寄った際には挨拶程度ではあるが訪問している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、本人が発した言葉に耳を傾け、意向の把握に努めている。また困難な場合は、生活歴や家族話をもとにご本人の意向を探れるよう努めている。	生活歴や生活習慣を把握している。入居時の家族情報も参考に、改めて個別に話を聴くのではなく、日頃の関わりや会話のなかで、要望を把握できるようにしている。発言内容が記載された介護記録を参考に、出来る限り希望に近づけるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居に際して、差し支えない範囲で、本人やご家族からこれまでの生活歴や生活習慣をお聞きし、前事業者からも情報収集し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人ごとに日常生活を記録し、以前にはなかった言動や行動については詳細に記録するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人やご家族から意向を聞き、担当職員がアセスメントを行っている。それをもとに計画作成者が介護計画を作成している。	独自のアセスメントシートを用いて担当職員がアセスメントをしている。モニタリングは、前回行ったアセスメントと比べて、改善した事や悪くなった事柄を把握し、必要な関係者が現状に即した本人主体の介護計画を作成している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の生活の中で、行動や言動の変化があれば詳細を記録している。申し送りや職員会議の場で共有できるように努めている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	心身面の状況に変化があった場合は、その都度ご家族に報告している。かかりつけ医の意見や家族の意向を確認し、本人に合ったサービスが提供できるように努めている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	外出が可能な入居者さんには地域で行われている敬老会に参加して頂いたり、近隣の商店への買い物に同行してもらったりなどして、そこで馴染みの方がいらっしゃれば交流して頂いている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に、かかりつけ医について本人、ご家族の希望を伺っている。定期的な往診をお願いし、異変があれば都度報告し、必要ならば受診している。	利用前の主治医の受診継続も可能であるが、24時間の連絡や往診体制が整っていることもあり、大半の方が、ホームのかかりつけ医となっている。運営推進会議のメンバーからの助言で、2週間毎の歯科衛生士による口腔ケアを受けられる体制が実現した例もある。	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日常の中での気づきは介護記録に記載し、看護職員や非常勤看護師に相談している。また訪問看護師にも報告している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には施設での生活状況が分かるように介護サマリーを作成して提出している。また定期的に経過を尋ねて情報交換に努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に看取り時に関する対応方法を説明しているが、実際に終末期が近づいた時点で改めてご家族のご意向をもとに、かかりつけ医、ご家族、施設の三者で話し合い、看取り介護に取り組んでいる。	看取りの経験もあり、要望があれば看取りを行なう方針である。入居時に家族への説明は行われ、重度化した場合改めて医師や家族と話し合いを行い、方針を共有しながらチームで支援する体制がある。希望があれば家族もホームで寝泊りが可能としている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救急時の対応についてはマニュアルを作成している。また、個別に対応が必要な場合はその都度作成している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署職員の指導のもと、避難訓練や消火訓練などを定期的に行っている。また市町が作成している防災マップなどで避難場所などを把握するように努めている。	消防署職員立ち会いの基、日中総合訓練、夜間想定訓練を実施している。減災の取り組みとして、2～3日分の備蓄も確保している。日頃から地域との連携を深める目的で、近隣グループホームとの合同訓練を実施している。	



自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議などで、声掛けや対応について定期的に振り返る機会を設けている。	独自の自己評価シートを用いて自己検証している。相手が不快にならないように、親しみやすい言葉掛けとし、個々の利用者に合わせた言葉掛けをしている。日頃の言葉遣いが乱れる状況があれば、毎月の職員会議などで注意喚起している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の会話の中で、思いや希望を否定せずに聞き入れるように努力し、自己決定して頂けるように開かれた質問をするように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な日常のスケジュールはあるが、できるだけ、ご本人のしたい事を優先するように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者様の衣類は毎日洗濯を行っている。また、ご家族に本人が好まれていた衣類などを持って来て頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々の会話などで食べたいものなどを聞き取り、可能な限り施設内で自炊している。可能な方には野菜の皮むきなどをお願いしている。	旬の食材を美味しく食べるとして食材の買い出しから調理と3食手作りで提供している。本人の能力に応じて、料理の下準備などを行っている。食事時間はある程度決まっているが、食事が進まない方には、職員の都合で決めず、個々に応じた食事時間としている。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分の摂取量を個人記録に記入し、変化がある場合はかかりつけ医に報告して指示を頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後には口腔ケアを行っている。ご家族の同意のもとに定期的に歯科医の検診や歯科衛生士による口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的にトイレの声掛けや誘導を行い極力、トイレで排泄を行って頂けるように努めている。</p>	<p>排泄記録表でパターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。自立支援を促す結果から、紙おむつからリハビリパンツへ移行した方もいる。排泄状態に応じたパッド類の選定や便秘対策などもある。必要時は、ポータブルトイレの設置などの環境整備もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取が困難な方にも水分不足にならないように、嗜好にあった飲み物を提供したり、スイカなど水分の多い果物を提供している。またかかりつけ医に相談のうえ、整腸剤や下剤類を使用している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>全ての入居者の方々に毎日入浴して頂くことは難しいが、体調や気分も踏まえて定期的な入浴を支援するように心掛けている。必要な場合は朝夕を問わず入浴を行っている。</p>	<p>週2～3回の入浴をしている。本人の状態に応じて、朝夕問わず入浴を行う方もいる。入浴時は、肌の状態や不自然なアザや傷などが無いか皮膚状態の確認をしている。適宜、入浴剤を使用し、冬至には、ゆず湯に入る習慣がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>本人の希望があれば、昼夜逆 転にならない程度に休んで頂い ている。また、座りっぱなしに ならない様に臥床して休息して 頂けるように努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>処方箋がいつでも閲覧できるよ うに直近のものは個人ファイル に綴っている。処方に変更があ った場合は、往診や受診記録に 記載し、都度申し送りも行って いる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居時にご本人やご家族から伺 った生活歴を把握し、編み物や 読書など楽しんで頂けるよう に努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>普段は、買い物、花見など外出 支援を行っている。また、ご家 族にも積極的に外出の機会をお 願いして、外食や墓参りなどに 連れて行ってくださっている。</p>	<p>行事予定はあえて決めず、季節 毎の外出が出来るように柔軟に 対応している。地域行事が盛ん な地域でもあり、日頃から外出 する機会が多い。家族の協力で 外出、外食に出掛ける方もい る。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>希望があればご本人やご家族と 相談して、幾らかの現金を財布 に入れて所持、管理して頂いて いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 虹ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人から要望があれば自由に電話して頂いている。また家族、親族、友人からの手紙は直接、手渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室・温度計を設置し、エアコン、加湿器などを使用し快適に過ごしていただけるように調整している。</p>	<p>臭いや感染症対策で換気に留意し、利用者の健康管理に努めている。庭や家庭菜園など行い、リビングからつながるウッドデッキを活用し、ゆったりとした空間である。利用者同士の会話も楽しまれており、一人ひとりが心休まる生活をされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関や、他のユニット、自室など自由に行き来して頂いている。またテーブル席やソファなどで自由に会話などができるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使用していたなじみのもの(時計やラジオ、アルバムなど)を持ち込んで頂いたり、施設内で撮った写真や昔の写真などを掲示している。</p>	<p>ベッド・タンス・エアコンが備え付けられ、テレビ、使い慣れた物や仏壇など、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。利用者によっては夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレや、部屋のレイアウトを調整している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自室が分からなくならないように表札を掲示したり、歯ブラシ置き場やタオル掛けなどに個人名を書いて各自で出し入れして頂いている。</p>		

V アウトカム項目( 虹ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の基本理念を玄関ホールと各ユニットの壁面に掲示して、職員に周知させている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地元の町内会に加入しており、敬老会など地域の行事にお招きを頂き参加している。また、とんどの飾りつけづくりをお隣のにしごこの家と共同で依頼され、毎年作成している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	敷地の入り口に掲示板を設置しており、施設だよりや運営推進会議の案内、議事録を掲示している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	毎回隔月ごとに開催しており、ご家族や民生委員、また包括支援センターご担当者に参加して頂いて、施設行事や事故の報告などを行い、意見や要望をまとめている。参加できなかったご家族には資料を送付している。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	施設内で発生した事故で、病院受診を伴った場合は、事故報告書を滞りなく提出している。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止に関する指針を作成し、職員への周知に努めている。また、運営推進会議でも高齢者虐待についてご家族に説明し、意見交換を行っている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員会議の場で、声掛けや対応などについて話し合う機会を設け、不適切なケアになっていないか、自身のケアを振り返る機会を設けている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見に携わっている職員から制度について情報を得たり、不明な点があれば都度、説明を受けている。成年後見が就任している入居者の方も受け付けている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、重要事項について説明を行い、その他の事についても不安や疑問点がある場合はその都度対応をしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見や要望がある場合は、口頭や電話、また玄関先に苦情箱を設置し、常に受け付けている。		



自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月行う職員会議の場で、意見や提案を聞く機会を設けている。必要であれば個別でも行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎年、定期的にベースアップを行い職員の勤務意欲の向上に努めている。また勤務時間内で業務が終了するように努めている。必要な残業に関しては法で定められた手当てを支給している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設外の研修に関しては、研修案内の資料を提示し、研修参加希望者を募っている。(研修を申し込んでいたが、コロナウイルスの影響で中止となった。)施設内では研修の場は設けられていないが、職員間で指導を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域や町内の行事に参加した際には近隣のにしごの家さんなど同業者の方々と意見交換するように努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の生活歴などの把握に努め、しっかりと会話をすることで信頼関係を築き、安心して、困っていること、不安なこと、要望に耳を傾けられるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族が抱えている、困っていること、不安なこと、要望などをしっかりと耳を傾け、小さなことでも話して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人やご家族の話聞き取る中で、何を必要としているかを把握し、ご家族と一緒にその方に合ったサービスは何か検討するように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	可能な方には、居室の掃除や、洗濯物を干したり、畳んだりなど生活作業を行ってもらっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	体調の変化があれば、常に連絡、報告し、ご家族に本人の状態をお知らせするように努めている。また病院受診があった場合可能であればご家族に依頼している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	現在は、コロナウイルスの関係で面会を一部制限しているが、従来は面会に制限はなく、自由に来所頂けるように努めている。また希望があれば、携帯電話を所有して頂き連絡が取れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事などができる方は職員や他の方と一緒にいき関係作りに努め、孤立しやすい方は職員が間に入ってコミュニケーションが取れるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	お亡くなりになられた方や、退居後にお亡くなりになられた方の葬儀に参列している。近くに寄った際には挨拶程度ではあるが訪問している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、本人が発した言葉に耳を傾け、意向の把握に努めている。また困難な場合は、生活歴や家族話をもとにご本人の意向を探れるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居に際して、差し支えない範囲で、本人やご家族からこれまでの生活歴や生活習慣をお聞きし、前事業者からも情報収集し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人ごとに日常生活を記録し、以前にはなかった言動や行動については詳細に記録するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人やご家族から意向を聞き、担当職員がアセスメントを行っている。それをもとに計画作成者が介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活の中で、行動や言動の変化があれば詳細を記録している。申し送りや職員会議の場で共有できるように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>心身面の状況に変化があった場合は、その都度ご家族に報告している。かかりつけ医の意見や家族の意向を確認し、本人に合ったサービスが提供できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>外出が可能な入居者さんには地域で行われている敬老会に参加して頂いたり、近隣の商店への買い物に同行してもらおうなどして、そこで馴染みの方がいらっしゃれば交流して頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に、かかりつけ医について本人、ご家族の希望を伺っている。定期的な往診をお願いし、異変があれば都度報告し、必要ならば受診している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日常の中での気づきは介護記録に記載し、看護職員や非常勤看護師に相談している。また訪問看護師にも報告している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には施設での生活状況が分かるように介護サマリーを作成して提出している。また定期的に経過を尋ねて情報交換に努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に看取り時に関する対応方法を説明しているが、実際に終末期が近づいた時点で改めてご家族のご意向をもとに、かかりつけ医、ご家族、施設の三者で話し合い、看取り介護に取り組んでいる。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救急時の対応についてはマニュアルを作成している。また、個別に対応が必要な場合はその都度作成している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署職員の指導のもと、避難訓練や消火訓練などを定期的に行っている。また市町が作成している防災マップなどで避難場所などを把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議などで、声掛けや対応について定期的に振り返る機会を設けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の会話の中で、思いや希望を否定せずに聞き入れるように努力し、自己決定して頂けるように開かれた質問をするように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な日常のスケジュールはあるが、できるだけ、ご本人のしたい事を優先するように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者様の衣類は毎日洗濯を行っている。また、ご家族に本人が好まれていた衣類などを持って来て頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々の会話などで食べたいものなどを聞き取り、可能な限り施設内で自炊している。可能な方には野菜の皮むきなどをお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分の摂取量を個人記録に記入し，変化がある場合はかかりつけ医に報告して指示を頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後には口腔ケアを行っている。ご家族の同意のもとに定期的に歯科医の検診や歯科衛生士による口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的にトイレの声掛けや誘導を行い極力、トイレで排泄を行って頂けるように努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取が困難な方にも水分不足にならないように、嗜好にあった飲み物を提供したり、スイカなど水分の多い果物を提供している。またかかりつけ医に相談のうえ、整腸剤や下剤類を使用している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>全ての入居者の方々に毎日入浴して頂くことは難しいが、体調や気分も踏まえて定期的な入浴を支援するように心掛けている。必要な場合は朝夕を問わず入浴を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>本人の希望があれば、昼夜逆転にならない程度に休んで頂いている。また、座りっぱなしにならない様に臥床して休息して頂けるように努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋がいつでも閲覧できるように直近のものは個人ファイルに綴っている。処方に変更があった場合は、往診や受診記録に記載し、都度申し送りもを行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居時にご本人やご家族から伺った生活歴をを把握し、編み物や読書など楽しんで頂けるように努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>普段は、買い物、花見など外出支援を行っている。また、ご家族にも積極的に外出の機会をお願いして、外食や墓参りなどに連れて行ってくださっている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>希望があればご本人やご家族と相談して、幾らかの現金を財布に入れて所持、管理して頂いている。</p>		



自己評価	外部評価	項目( 星ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人から要望があれば自由に電話して頂いている。また家族、親族、友人からの手紙は直接、手渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室・温度計を設置し、エアコン、加湿器などを使用し快適に過ごしていただけるように調整している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関や、他のユニット、自室など自由に行き来して頂いている。またテーブル席やソファなどで自由に会話などができるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使用していたなじみのもの（時計やラジオ、アルバムなど）を持ち込んで頂いたり、施設内で撮った写真や昔の写真などを掲示している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自室が分からなくならないように表札を掲示したり、歯ブラシ置き場やタオル掛けなどに個人名を書いて各自で出し入れして頂いている。</p>		

V アウトカム項目( 星ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ

作成日 令和2年9月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	虐待について職員によって認識や理解に差異がある。	法律に基づいた虐待に関する研修を行い職員の見解を統一する。	年間をとおして定期的・計画的な研修会を開催する。	1年間
2	13	管理者以外、施設外研修に参加できていない。(前回からの継続)	研修参加の機会を増やす。	コロナの影響で現在、参加を見合わせているが、オンライン等を活用して参加できるように検討する。	1年間
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。